

■水元かわせみの里水辺のふれあいルーム

■住所：東京都葛飾区水元公園 8-3

■HP：<https://www.city.katsushika.lg.jp/institution/1000096/1006910.html>

■ブログ：<https://mkawasemi.exblog.jp>

■Facebook：<https://www.facebook.com/水元かわせみの里-水辺のふれあいルーム-210503865763875/>

■施設概要：水元かわせみの里は、^{みずもとこあいだめ}水元小合溜を豊かな生きものが生息していた昭和 30 年代前半の水辺環境にまで回復させることを目的に葛飾区が設置した水質浄化施設。「水辺のふれあいルーム」は、訪れる区民が水辺と親しみ、ふれあう場であり、水質浄化センターの役割や周辺の自然情報を発信し、水元小合溜の自然環境の素晴らしさや大切さを知ってもらうための学習の場である。

■発注元：葛飾区

■受託年：平成 17 年 4 月～

■職員人数：4 名

■休館日：月曜日、年末年始

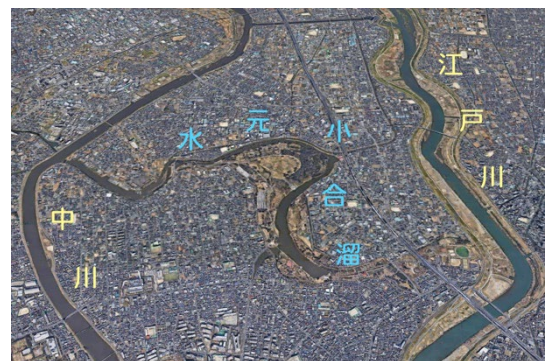
●水元小合溜の概要

東京都 23 区内で最大の東京都立水元公園の中心にある面積約 25.5ha、延長約 3.6km の淡水湿地。水郷景観を有する水元公園は、都市部に生活する人々の貴重な憩いの場となっている。

水元小合溜は、東京都随一のトンボ類の生息地で、コウホネやマツモなどの水草類、モツゴやギンブナなどの魚類、カモ類など水辺の生物が豊富に生息する。森ではオオタカが繁殖し、昆虫類やクモ類など様々な生物が生息する水辺と緑地があり、都内にありながら豊かな生態系を保つ貴重な空間となっている。環境省は、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（略称「重要湿地」）」として 2016 年に選定している。

水元小合溜は、江戸時代に古利根川を堰き止めて作られた貯水池で、都心に食糧を供給する田畑を潤した。その後、1980 年代に水質悪化が進んだため、葛飾区は水質浄化対策事業として 1989 年から「カムバックカワセミ作戦」に取り組み、その一環で水質浄化施設として「水元かわせみの里」を 1995 年に設置した。

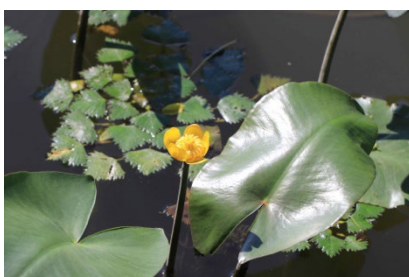
現在も「河川環境改善計画～水元小合溜のこれからの水環境に向けて～」を 2018 年に策定し、水質や外来種などの管理を継続している。



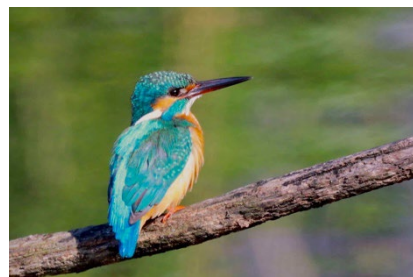
2つの河川の間にある水元小合溜



水元かわせみの里



コウホネ 東京都区部 絶滅危惧 II 類



カワセミ 東京都区部 絶滅危惧 II 類



チョウトンボ 東京都区部 準絶滅危惧

●主な事業（カッコ内数字はR2年度実績）

1. 来館者案内・展示・自然学習講座・イベント・広報

年間約30,000人（17,862人）の来館者に、専門員による「個別案内」を行い、「小合溜ガイドウォーク」（参加者総数930人）や水元小合溜に棲む生物の「飼育展示」（甲殻類4種、魚類13種、爬虫類3種、両生類5種など）、季節ごとに「企画展」（年4回）を提供している。

より関心の高い層には、「自然学習講座」（23回開催、参加者総数423人）を実施し、水元公園・水元小合溜に生息する様々な生物の観察などを通じて、水元小合溜の大切さを伝えている。

また、水元かわせみの里の存在や取り組みを広く伝え、水元小合溜を守る人の輪を広げるために「水元かわせみフェスティバル」などのイベント（4回開催、参加者総数1,000人）を開催し、葛飾区や都立水元公園が主催するイベント（新型コロナウイルス感染拡大のため全て中止）に出展している。

広報では、「水辺のふれあいルーム通信」を毎月発行し、ブログ「水元かわせみの里水辺のふれあいルーム」（閲覧回数82,797回）やFacebook、Twitterを開館日に毎日更新している。



毎日行う小合溜ガイドウォーク



夏の夜を楽しむナイトウォッチング



キッズボランティアが活躍するかわせみフェスティバル

2. ボランティアの育成・支援

地域への愛着を育み、地域の発展へ貢献することを目的にボランティア制度を設けており、約20名の区民が「水元かわせみの里ボランティア」として登録し、R2年度はのべ352人が講座の運営補助や植生管理などで施設運営を支援した。また、ボランティア活動の充実を図るため「ボランティア研修会」（年間5回）を提供している。

生物多様性への関心の向上や、地域への愛着を育むことを目的に、小学生を対象とする年間メンバー制の「キッズボランティア」には20名が登録し、ゴミ拾いなどの保全活動や生きものの魅力を伝える活動、学習会などにR2年度はのべ266人が参加した。



カワセミの営巣壁を整備するボランティアとキッズボランティア

3. 生物調査

<目的>水元小合溜周辺の生物の生息状況を把握するとともに、その結果を来館者への日々の案内やガイドウォーク、自然学習講座、展示物、環境管理等へ活かす。

<内容>水元かわせみの里周辺や水元公園を調査範囲に、「公園内生物調査（植物・鳥類各月1回）」、「野草園見頃調査（月3回）」、「鳥類個体数調査（月2回）」で確認した種を毎月集計した。

対象は草本と木本、動物は昆虫類、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類が対象。

●R2年度の結果

	確認した種数	東京都レッドリスト該当	環境省レッドリスト該当	外来種
植物	102科413種	33種	11種	32種
昆虫	11目100科293種	9種	0種	1種
魚類	6目9科17種	6種	2種	3種
両生類	1目4科5種	4種	0種	1種
爬虫類	2目6科7種	4種	0種	2種
鳥類	13目32科85種	40種	6種	1種
哺乳類	4目5科5種	1種	0種	2種